

がん予防 がん検診の“集い”

～がん検診 受けて安らく“身と心”～

平成27年度がん検診受診促進キャッチフレーズ最優秀作品

10|22 土

10:00～12:30

場所 いわき市平体育館

10|23 日

10:00～16:00

場所 ポラリス保健看護学院
メグレスホール
(郡山市)

入場
無料

今年のテーマも

“女性のがん”

～10月は乳がん月間、
11月は子宮頸がん月間です。～



当日ご来場された方へ
200ptプレゼント!

※アプリ版のみポイントを付与致します。

詳細は次ページへ!

“集い”とは？

福島県では、**平成29年を目標年次として、がん検診受診率50%**（乳がんと子宮頸がんにあつては60%）以上を達成することを目標としております。

県民一人ひとりが、がん検診について、「知り」・「考え」・「語らう」ことを通じて、「実践（＝がん検診受診）」につなげていくことが重要であると考え、「集う場」を設定しました。



講師紹介



総合磐城共立病院

本多つよし 医師

1959年福島県いわき市生まれ。1987年福島県立医科大学地域産婦人科支援講座教授の傍ら、総合磐城共立病院に勤務。

「定期的な子宮がん検診で、守ろう子宮を！」という信念を県内外の講演などを通じて強く訴えている。



シンガーソングライター

松田 陽子氏

シンガーソングライター・セミナー講師・MCとして活躍しているアーティスト。子宮頸がん・うつ病を克服し、国連UNHCR協会広報委員として、世界の難民支援や児童虐待防止、また子宮頸がん検診啓発など、さまざまな活動を展開。

学生からのメッセージ

いわき明星大学、鎌田ゼミの学生たちによる「子宮頸がん受診啓発の活動体」による発表が昨年に引き続き行われます。

昨年度に生まれたこの活動体は、20歳から対象とする子宮頸がん検診への若者のリアルな考えから、どうしたら検診に行きやすいかを考えた発表を行いました。今年度はさらにパワーアップした彼らのメッセージをいわき会場で発信します。



学生たちをコーディネートする
いわき明星大学

鎌田真理子 教授

昨年度いわき明星大学の学生がデザインした子宮頸がん検診受診啓発オリジナルキャラクター。がんとカニ(Cancer)を掛け合わせ、カニをモチーフに子宮の形に見立てました。

名前は
まだ無いよ!



がん検診キャッチフレーズ

平成27年度がん検診受診促進キャッチフレーズ



がん検診 受けて安らぐ “身と心”



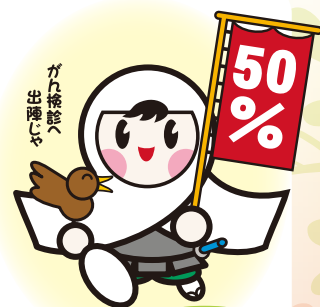
- 大切な人のために“すすめよう”がん検診
- がん検診 高まるリスクを抑える“クスリ”
- がん検診 家族の喜ぶ 第一歩

福島県がん検診受診促進キャッチフレーズとは、見た人ががん検診に行ってみたくなるような標語を県民の皆さんから募集する事業です。

現在、2人に1人が一生のうちにかかると言われるほど、がんは身近な病気となっています。キャッチフレーズを見て、そしてキャッチフレーズを考えてもらうことを通じて、県民の皆さんにがん検診について関心を持ってもらうことを目的としています。

昨年度は、上記の4件のキャッチフレーズが選ばれました。今年度も、多数の応募の中から選ばれたキャッチフレーズが、いわき会場で表彰されます。

- 主催 福島県
- 後援 いわき市、郡山市、福島県市長会、福島県町村会、一般社団法人福島県医師会、一般社団法人福島県病院協会、公益財団法人福島県保健衛生協会、福島県国民健康保険団体連合会、全国健康保険協会福島支部、「ピンクリボンin郡山」実行委員会
- 協賛 アメリカンファミリー生命保険会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、株式会社大東銀行、株式会社東邦銀行、株式会社福島銀行、住友生命保険相互会社、第一生命保険株式会社、大同生命保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、日本生命保険相互会社、富国生命保険相互会社、明治安田生命保険相互会社、福島民報社、福島民友新聞社
- 協力 特別財団法人福島県婦人団体連合会、福島県健康を守る婦人連盟、公立大学法人福島県立医科大学附属病院、一般財団法人慈山会医学研究所附属坪井病院、一般財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院、独立行政法人労働者健康福祉機構福島労災病院、公益財団法人星総合病院、いわき市立総合磐城共立病院、福島県医療ソーシャルワーカー協会、NPO法人がんピアネットふくしま



けんしんくん